詳 細 資 料 あ り

令和７年３月６日

市政記者クラブ　様

スポーツ市民局市民生活部消費生活課
担当：三輪、渡邉　電話 222-9645

名古屋ライトハウス情報文化センターと連携して
エスカレーターの安全利用促進キャンペーンを実施します！

名古屋ライトハウス情報文化センター※と連携して、エスカレーターの安全利用を呼び掛けるキャンペーンを実施します。視覚障害者がエスカレーターを利用する際の不安や困りごとを周知し、右側に立ち止まって利用することが“誰かのためになる”ことを広く市民に知っていただく機会にしたいと考えていますので、ぜひ取材をお願いいたします。

※　名古屋ライトハウス情報文化センターは、2020 年に創立 60 周年を迎えた視覚障害者等への情報提供施設です。

記

１　概　要

(1)　日　時
令和７年３月 27 日（木曜日）9:00～11:00

(2)　場　所
大曽根駅前地下施設サンクンガーデン（北区大曽根３丁目 1201 番）

(3)　参加者
市職員、なごやか立ち止まり隊
視覚障害当事者（盲導犬ユーザー）、歩行訓練士（視覚障害生活訓練等指導者）、
ガイドヘルパー（ガイドボランティア）

(4)　内　容
サンクンガーデンにおいてエスカレーター利用者への街頭啓発活動や盲導犬ユーザーによるエスカレーター利用の実演を行います。
また、エスカレーターの右側に立ち止まって乗って啓発活動を行う「なごやか立ち止まり隊」が令和６年度最後の活動を行います。

(5)　スケジュール

9:00～	なごやか立ち止まり隊活動
9:30～10:00	街頭啓発
10:00～11:00	盲導犬ユーザーによるエスカレーター利用のデモンストレーション、インタビュー対応　等

２　取材申込み

(1)　申込方法
取材いただける場合は、3 月 25 日（月）17:00 までに、別添の取材申込書に必要事項を記載し、以下の連絡先までメールまたはＦＡＸでお申し込みください。

(2)　連絡先
スポーツ市民局市民生活部消費生活課
Email　a2229679@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp
ＦＡＸ　052-222-9678

３　エスカレーターの利用実態について

令和６年 11 月から 12 月に、令和６年度エスカレーターの利用実態に関する調査を実施しました。

調査の結果、歩いたり走ったりして利用する割合は 5.2%であり、前回調査の 6.7%から 1.5 ポイント減少したものの、右側に立ち止まって利用する割合は 23.6%であり、前回調査の 23.9%とほぼ横這いでした（詳細は別紙資料参照)。

このような結果をうけ、右側に立ち止まって利用することをより一層浸透させるために、本キャンペーンを実施します。

＜調査概要＞

(1) 調査時期

令和６年 11 月 21 日（木）～ 12 月 22 日（日）

(2) 調査場所(10 か所)

交通機関６か所（市営４か所、民間２か所)、商業施設３か所、公共施設１か所

(3) 調査方法

・1 か所あたり４日計測（平日２日、土曜日１日、日曜日・祝日１日）
・1 日に朝、昼、夕方、夜の４回計測
・「立ち止まって利用している（左側、中央、右側)」、「歩いて利用している」、「走って利用している」人数を計測

(4) 調査結果の推移

区　分		令和４年 4～5 月	令和５年 6～7 月	令和５年 11～12 月	令和６年 6～7 月	令和６年 11～12 月
立ち止まって利用		**78.7%**	**84.4%**	**92.7%**	**93.3%**	**94.8%**
	左　側	62.3%	69.7%	72.7%	65.9%	66.7%
	中　央	8.8%	4.1%	4.2%	3.4%	4.5%
	右　側	7.6%	10.6%	15.8%	23.9%	23.6%
歩いたり走ったりして利用		**21.3%**	**15.6%**	**7.3%**	**6.7%**	**5.2%**

※ 四捨五入により合計が一致しない場合があります。